

あぷろうち

～ approach ～



日本労働組合総連合会
群馬県連合会（連合群馬）

発行人 金子 裕昭
編集人 鈴木 誠

〒379-2166
群馬県前橋市野中町361番地2
(群馬県勤労福祉センター2F)
TEL 027-263-0555
FAX 027-261-0549
Eメール info@gunma.jtuc-rengo.jp
URL http://www.rengo-gunma.gr.jp/

2013年5月号
No.217

1000万連合めざし、組織拡大実践セミナー開催!!!

1000万連合実現をめざし、組織拡大実践のためのセミナーを、4月20日に群馬県勤労福祉センターで開催し、産別・地協から代表者や組織拡大担当者など102名が参加しました。

本セミナーは「組織拡大のポイント」、「組織化事例発表」、「組織拡大オルグの実践」の3部構成で行いました。

冒頭、小島副会長より「連合だけではなく、それぞれの産別・単組の生命線である組織拡大を、自分の気持ちの中に落とし込んで実践していただきたい」とあいさつがありました。



組織拡大は各組織の生命線！
小島副会長

「組織拡大は多面的な捉え方を」

第1部は「組織拡大のポイント」と題し、組織担当の鈴木克幸副事務局長より説明を行いました。

組織拡大の目的は、「運動の強化、雇用の質の向上、さらには影響力の維持がある。特に影響力については、有期雇用労働者や60歳以降の継続雇用労働者が増えている中で、過半数を超える組合員を代表する組織でなければ労働組合としての影響力を失うことがある」、非正規労働者の組合員化については、「より良い職場にすることは組合員だけでなく、そこで働く非正規の仲間も望んでいる。不安や不満を無くし職場の風通しを良くすることが必要」、「労働条件について労使で協議されているが、当事者である非正規労働者が、組合へ意見や要望を出す機会を設けられていないため、機関手続きに関与できるようにする必要がある」など、連合運動としての組織拡大の必要性を説明しました。



組織拡大について学ぶ、各組織の代表者

「アドバイザーとの信頼構築から労働組合づくりに」

第2部の「組織化事例発表」では、連合群馬ユニオンへ加盟している組合が結成されるまでのいきさつと、結成後についての紹介を行いました。

組合結成のきっかけは「会社の業績や賃金が決まる方法がわからず、会社と話がしたいと思い、アドバイザーへ相談する中で、労働組合を作る決心をした」、結成する中で「仲間を増やす時に、会社へ組合作用りが漏れてしまい、妨害された」、「労働組合の必要性を丁寧に仲間に伝え、賛同者が増えた時のうれしさ」、また結成して良かったこととして「団体交渉での要望に対し、会社が対応してくれた」などを伝えてくれました。

「労働運動家の使命感・正義感のもとに」

第3部は「組織化オルグの実践」と題し、連合本部・大出中央アドバイザーを講師に招き、講演を行いました。

大出アドバイザーは長年の経験を交え、組織拡大担当者の心構えとして、「労働者の自発的結成による組織化は基本だが、労働者の救済という大義で取り組んでいるにも関わらず、経営者の不当労働行為により、理解者であるリーダーが会社にいられなくなり、組合消滅の道をたどることもある。経営者に対し民主的経営の重要性、生産性運動など、良好な労使関係が必要であることの理解を育む努力が必要である」と話されました。

また、組織拡大に関して、「リーダーたる者、労働者全体の視点に立てるか否か、自分達の産別・組合の狭い意識では困る。また、『助け合いの世界＝労働運動』の共生の哲学に“メリット・デメリット（損得論）”といった貧しい論理はない。連合運動を学び、社会的使命を自覚して取り組んで欲しい」、「組織化の実行部隊立ち上げに向けて動き出している。困っていることは連合本部へ上げていただき、共に1000万連合実現へ向け、邁進したい」と熱い思いを語られました。



組織化の経験を語る
大出中央アドバイザー